

**製品名: Bmi1 (10S4) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe07586**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:20-1:100,ICC/IF 1:20-1:100
分子量	37kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BMI1
別名	BMI1 ; Polycomb complex protein BMI 1; RING finger protein 51; RNF51; PCGF4;
遺伝子 ID	100532731;648
SwissProt ID	P35226
免疫原	ヒト Bmi1 の合成ペプチド

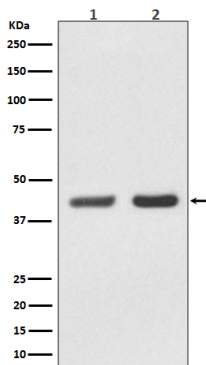
**背景**

ポリコムグループ (PcG) タンパク質は、細胞系統の指定、細胞死、および細胞周期停止を促進する遺伝子のサイレンシング状態を維持することにより、細胞のアイデンティティ、幹細胞の自己複製、細胞周期の制御、および腫瘍形成の維持に寄与する。PcG タンパク質は、エピジェネティックなクロマチン修飾を介して長期の遺伝子サイレンシングを維持するために協力する 2 つの複合体として存在する。最初の複合体である EED-EZH2 は、DNA 結合転写因子によって遺伝子にリクルートされ、ヒストン H3 の Lys27 をメチル化する。発生を通じて Hox 遺伝子を含む多くの遺伝子の転写抑制状態を維持するために必要な複合体クラスである、ポリコムグループ (PcG) 多タンパク質 PRC1 様複合体の構成要素である。PcG PRC1 複合体は、ヒストンのクロマチンリモデリングと修飾を介して作用する。ヒストン H2A の Lys-119 のモノユビキチン化を媒介し、クロマチンの発現能を遺伝的に変化させます (PubMed:15386022, PubMed:16359901, PubMed:26151332, PubMed:16714294, PubMed:21772249, PubMed:25355358, PubMed:27827373)。RNF2、UB2D3、BMI1 からなる複合体はヌクレオソームに結合し、ヌクレオソームヒストン H2A に対してのみ活性を示します (PubMed:21772249, PubMed:25355358)。PRC1 様複合体では、RNF2/RING2 の E3 ユビキチン タンパク質 リガーゼ活性を制御します (PubMed:15386022、PubMed:26151332、PubMed:21772249)。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



(1) K562 細胞溶解物、(2) PC-12 細胞溶解物における Bmi1 発現のウエスタンブロット解析。